

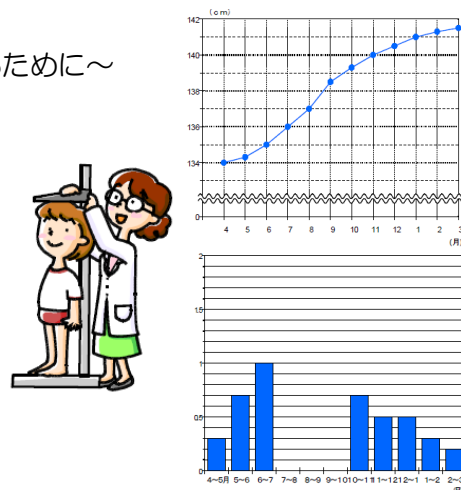
単元名 折れ線グラフと表 (大日本図書)

目指す児童の姿

- ・表やさまざまなグラフを関連付けて考えることができる。
- ・折れ線グラフの特徴をもとに、グラフの形状から読み取れることを発表したり、そのように読み取った理由を説明したりすることができる。

指導例 ~資料の数学的な解釈と関連付けができるために~

- 1 いろいろなグラフの形状、名前を確認する。
- 2 身長の変化を表すグラフから、変化の様子を読み取る。
(折れ線グラフと棒グラフを関連付けて)
- 3 自分の身長の変化と伸び具合について、2つのグラフに表し、分かったことを記述する。



指導計画

時間	ねらい・学習活動
1	折れ線グラフの読み方 ① 折れ線グラフの使い方や読み方を理解し、事象の変わり方を考える。
2	② 波線でグラフを省略するなどして、折れ線グラフの縦軸の幅を変えると、変化のようすが見やすくなることを理解する。
3	折れ線グラフのかき方 ① 資料をもとに、変化のようすを折れ線グラフに表し、その特徴について考察したことを表現する。
4	② 2つの事象の変わり方を1つの折れ線グラフに表し、変化の違いを読み取る。
5 本時	折れ線グラフから分かることを考える ・事象の変化の様子が分かりやすい折れ線グラフに表し、その特徴を読み取る。 ・折れ線グラフを他のグラフと関連付けながら変化の様子を読み取る。
6	整理のしかた ① 資料を2つの観点から分類整理して表に表し、資料の特徴について考察する。
7	② 資料を、2つの観点から抜け落ちや重なりがないように分類整理して表に表し、資料の特徴について考察する。
8	まとめる ① 「練習」基本的な学習内容に習熟し、それを活用する。
9	② 「きほんのたしかめ」基本的な学習内容を理解しているか確認する。

指導のポイント

- ◇問題文の意味をとらえ、正しい答えを導き出す力を付けられるよう、文を読むこと、書くことを意識した授業を行う。
- ◇表や折れ線グラフ中のどの数量に着目したか、印を付けさせながら言語化の支援をする。
- ◇座席表形式の評価シートを用いて、子どもたちの考え、活動内容、つまずき等を把握しながら学習を進めていけるようにする。
- ◇自分の身長の変化と伸び具合についてグラフ化し、保健で学習する「育ちゆく体とわたし」の単元に重ねて、自身や友だちの成長について考える材料とする。